

11/1 中央港湾団交



十一月一日(金)十四時 四十五分から中央団交を港運 会館(新橋)で開催して、 事前協議問題で船会社に組 合が主張する適正な運用を 求めることと統一回答問 題、自動化問題、自然災害 対策、関連職種支援の具体 化問題と来年度から是正を 求められる働き方改革に伴 う時間外労働等の対応につ いて協議を行った。

業側は、組合の要求につ いて要旨次の回答を行っ た。

①事前協議では、組合側の 要望を船会社に伝える。ま た、船会社も事前協議の運 用に真摯に答えるとしてい る。したがって、今後と

②統一回答問題では、業側 が主張する適正な運用を 求めることとして労使が協議を重ね て、事態の打開を図るべき という組合の指摘は同意で きる。したがって、早急に 協議する場を設けたい。

これを踏まえ、組合側は、 労使協議を行うことを前提 として第三者機関への申請 は中断することとした。

③自動化問題については、 中央労使で協議する場を設 けて議論を重ねることとし た。

④関連職種の支援策の具体 化については、元請事業者

も含めた委員会の設置で検 討をすすめることとした。

⑤働き方改革の課題につい ても、行政に向けた対応も 含め、労使協議の場を設け て検討することとした。

⑥災害対応については、労 使が知恵を出し合う場を設 けることとした。

以上の協議を行い、概ね 双方の方向性の一致を見た ためある委員会、あるいは 新たに委員会を設置して 対応を協議して解決を図る ことで、概ね双方の方向性 の一致を見たため労使で確 認し、団交を終了した。(十 五時四十五分終了)



快晴の天気が続くなか、 十二月三日の天気予報だけ は曇マーク、大運動会の当 日を迎え、雲は多いが、雨 は降らないとの天気予報に 胸をなでおろす、大運動会 となりました。

全横浜港湾 第二十八回大運動会

執行委員・要員の方々は、 朝八時に現地集合となっ ていたが、港湾時間(早出出 勤)で鍛えている組合員は、 続々と家族連れでグラウンド の各単組応援席に集まり、 九時三十分からの開会式を 迎える頃には、大勢の組合 員と家族で賑やかに集う姿 が多く見られました。

開会式では、東海実行委 員長の挨拶後、横浜港運協 会藤木会長はじめ港湾局局 長の挨拶を頂き数多くの来 賓の方々が参加されまし た。

競技では、子供達の全力

疾走を見て、親御さん達は 大きな声援を送っている姿 が多く見つけられました。

続いて「パン喰い競走」 では、自分の好きなパンを 目指してパンにかぶりつ き、一目散に全力疾走で、 上位に入ろうと奮闘する姿 が可愛らしさを演出してい ました。「長距離マラソン」 には日頃、体力に自信があ る人達が集い、小学生部門、 女子部門、男子部門の三部 門に分かれて競い合い、多 くの人達が参加し全力で体 力の続く限り走り抜いてい ました。

昼食休憩では子供達に、 お菓子袋が渡され、幼児、 児童も親子で一袋ずつお菓 子を抱えて喜ぶ姿が多く見 受けられました。

「恋人探し」では夫婦で 出場し、合言葉が違いため 別々の男女ペアでゴール するなど笑いを呼んだ場面 も多々見られました。

「玉入れ」は紅白に別れ て幼児、児童が、高い玉入 れ袋に球を入れるために奮 闘し、最後は親が子供を抱 えて親子で玉入れに熱中し ている姿が見受けられまし た。毎年恒例の「職種対抗 リーダー」は、各チームが 女性二名を含む八名で争わ れ、最初はトップで走って いても、グラウンドに足を取 られ転ぶ姿や、走者同士が ぶつかりあい、走者が転倒



し、順位がコロコロと入れ 替わる激しい徒競走を繰り 広げ、逃げ切った浜港労連 Aチームが、トップでゴー ルインし見事な勝利を得ま した。

最後に、豪華商品が当た る抽選会が行われ、ため息 と歓声が沸き起るなか、 無事に第二十八回横浜港大 運動会は終了しました。

参加者は、子供も大人も 要員の方々に、お礼を申し 上げます。

含め一三〇〇人を超える港 湾関係者が集まったこと (全横浜港湾・渡邊書記長)

神戸港湾 ソフトボール大会

昨年、神戸港は台風二十 一号により甚大な被害を受 けたため、大会を自粛した ので三年ぶりの開催となっ た第三十六回神戸港ソフト ボール大会は、十月二十七 日(日)摩耶グラウンドにお いて、橋本実行委員長(神 戸港湾・副議長)より挨拶 が行われた後、五チームで 優勝を目指して競い合いま した。

結果として、サンソー港 運労組(神港労連)が二連 覇となり、準優勝は甲陽運 輸(神港労連)でした。

最近、日曜日の開催で 中々参加チームが少ない状 況ですが、各チーム熱戦を 繰り広げて休日のひと時を 楽しみました。

(神戸港湾・高島事務局長)

